

混乱した大會は、議長棚橋氏の引責辭任となつた。午後の議長は労働者のような武田友太郎氏  
がなつて議事を進めた。  
然るに此處にも不可思議な問題が起きた、第二議長は労働者にも拘らず、さすがは棚橋直系だ  
けに、より以上の横暴振を發揮した、そうして本組合其他の午前の問題に關して何等の交渉も  
なく議事を進めた。それのみならばまだいゝとして、提案者も不出席ならば、勿論説明者もな  
いのに鐵工組合及赤羽労働聯合會提出の重大議案はどしどし／＼良からうが惡からうが没却して仕  
舞つた、此れを見た芝支部の老闘士中島千八君が其の不當を責めた、同時に本組合其他の少數  
者に同情された傍聴者が其に聲を合せて第二の混亂を生んだのであつた。

七月七日の晩であつた。  
東京聯合會總幹部會の席上で、東京鐵工組合、赤羽労働聯合會等は、永い永い年月、雨に雪に  
お互に抱き合つて此處迄で来た、——戦傷を受けた、同胞に軟かい綿帯をしてやつた、咽喉の  
乾いた、足を折られた友達に冷たい水を口附してやつた事もあつたらう、そうして仲の好い友  
達と肩に背負つたり背負られたりして社會戦の戦場に幾日曝された事だつたらう、

思ひ出せば悲痛な晩であつた、  
永い同志と兎も角も別れた、榊田孫三郎氏が本組合を代表して東京聯合會から脱退することを  
聲明した、

勿論赤羽も其他二三も脱退を聲明した、  
然し本組合の脱退は當然な事であつたと思ふ、何故なればといふに五日の大會に於て既に本組  
合は第二の議長武田氏に依つて加盟を否認されて居つたからであつた。  
それのみならず東京聯合會の議案として同盟罷業の自由に出来ない様な、又罷業を制御する様  
な議案を一言の反對者も質問者もなく教へられたまゝに多數で可決する様な組合とは一緒にも  
行かないであらう、  
兎に角、本組合は東京聯合會から脱退した（總同盟友愛會へは獨立自治團體として加盟して居  
る）が本組合提出の議案其他は參考として左に掲げて本組合の何たるかを知られたいと思ふの  
である。

東京鐵工組合提出議案

- 一、全國的總同盟罷業の實現の爲めの一切の行動を認むるの件
  - 一、總務委員選出方法に就て
  - 一、職業又は産業別に依る一大合同の實現を即時實行すべし
- 以下略

大正十年七月

東京鐵工組合  
赤羽労働聯合會